

「TXアベニュー八潮」 リニューアルオープン

首都圏
新都市鉄道



つくばエクスプレス（TX）を運営する首都圏新都市鉄道は11日、同線八潮駅高架下の複合商業施設「TXアベニュー八潮」をリニューアルオープンした。写真。駅直結の通路などに計12店舗が新たに outlet。既存2店舗と合わせて14店舗が軒を連ねる。

八潮駅は今年3月のダイヤ改正で快速の停車駅となり、利便性向上などを背景に近年、乗車人員が増加している。埼玉県八潮市の駅周辺は子育て世代に人気のエリアでもあり、「街のカフェ」をコンセプトに据え、飲食チェーンを中心に日常使いしやすい店舗をそろえた。延べ床面積約2144平方メートル。

商空間プロデュースを手掛けるスペース（東京都中央区）が、リニューアルの企画・設計・施工を担当。同社が同線の施設を担うのは「TXグラウンドアベニューおおたかの森」「TXアベニュー守谷」に次いで3施設目となる。

今回の改修では、関係者が筑波山で内装用の木材を自ら伐採するプログラムなどを通じて、沿線の魅力を再認識する機会を創出。地産材を活用することにより、輸

送にかかる二酸化炭素（CO₂）排出量を抑えるなど、環境にも配慮した。

内装は、八潮らしさを五感で感じてもらうため、川に囲まれた同市をイメージできるデザインを採用。筑波山で間伐したスギ30本をベンチや壁面、天井の装飾に用いており、これらの取り組みを施設内に掲示して、利用者に興味を持ってもらうきっかけづくりを図る。